

第2回学校運営協議会報告

～地域社会との連携、生徒会と運営委員との交流について～

学校と地域社会との連携について

学校運営協議会では、児童生徒や学校と地域社会との連携、社会参加に向けて学校教育の中で必要な力などについて協議した。前回の学校運営協議会の内容と本校の運営委員会ワーキングのまとめを報告後、以下の意見が出た。

■ 地域連携

学校と地域の連携が実現すれば素晴らしい。児童生徒の貴重な体験の場となる。

■ 授業実践

学校の授業の中で学んだことを身につけて、社会に出たときに、それが発揮できる学校の取組が必要。

■ 障害者雇用等

障害者が職場にいることで雰囲気は変わると思う。世の中の情勢や動きは早い、学校もスピードを大事にした方が良い。

■ 地域・関係機関への啓発

学校で障害者雇用制度の利用の説明会を開いてはどうか。説明会の後に授業見学などをしてもらえば児童生徒の理解につながると思う。ハローワーク等関係機関でみくまの支援学校の児童生徒の作品の展示など学校の啓発が大事。

■ 学校の取組

卒業後のことを考えた場合、社会に出て行くための力と学力の両方が必要。教師の方も、子どもたちに分かりやすい授業ができるスキルを身につけていく必要がある。振り返って、また前に進むことが大切。

学校運営協議会の様子



運営委員の授業見学の様子



授業見学の様子。子どもたちにどのような教育が必要なのかを十分に理解した上で、指導者が子どもたちに質問の意図や明確な説明をきちんとできているかが大切だという意見が協議会の中でも出ていました。授業を受ける子どもたちが設問の意味や内容が理解できていないと充実した授業にはつながりません。今回いただいた意見を参考に日々の授業を取り組んでいけたらと思います。



生徒会メンバーの自己紹介の様子



生徒Aの質問

将来、パン屋さんで働くにはどうすればいいですか？

学校運営協議会委員からの質問に対するアドバイス

■すてきな夢である。仕事を始めたら、悩んだときに相談できる力を身につけてほしい。

■将来の目標を持ってほしい。働きたいだけなのか。将来お店を持ちたいのかなど具体的な目標を決めた方がいい。他にも自分の得意な作業、苦手な作業を理解して得意な所をアピールすると良い。

生徒Bの質問

自分の得意な所はリーダーシップをとること、身体を動かすこと、苦手なことは人前で話しをすることや漢字をかくことです。自分にはどんな仕事がありますか。

学校運営協議会委員からの質問に対するアドバイス

■チームとして働ける警備関係などはどうですか。それと地元か県外とかで働くのはどうですか？（生徒Bは県外で一人暮らしをして働いてもいい）と返答。

■いろいろな仕事があるので自分でも調べてみてください。その仕事をするにはどんなことを今、しておくべきなのかを知ること大切。

■高2の段階で自分の得意、不得意を理解しているのがすごい。話すことは経験を重ねることで慣れてくる。自分の得意な所を伸ばせばいい。ジムのトレーナーとかは体を動かすのでいいかも。アドバイスをもらえるような人と人とのつながりを持ってください。

委員からの質問に答える生徒の様子



生徒Cの質問

就職か専門学校かで悩んでいる。どうすればいいですか。

学校運営協議会委員からの質問に対するアドバイス

■すてきな夢である。仕事を始めたら、悩んだときに相談できる力を身につけてほしい。

■夢と就職が平行できれば良い。イラストをいかした働き方ができればと思う

■イラスト関係に興味があるなら一度、専門学校等を見学したり調べてみるのもいいのではないかな。仕事として考えるのも一つだが趣味として取り組むのも一つの考えです。

第2回学校運営協議会総括

総括

- ① 授業に関しては児童生徒に対する授業のねらいや設問等が子どもたちにとって理解しやすいものになっているかなどを明確する必要がある。
- ② 障害者雇用の説明会をみくまの支援学校でおこなったり、児童生徒の作品をハローワーク等で展示するなど学校からの啓発が必要。学校側から地域への積極的な働きかけが大事。
- ③ 地域社会の方との交流会を通して生徒会のメンバーが自己の将来像や考えを伝達する貴重な機会となった。子どもたちにとって主体的、対話的、深い学びにもつながっている。